

## 平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表  
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満  
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧  
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

### 1. 学校概要

学校名 金沢市立紫錦台中学校  
種別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )  
住所 〒920 -0938  
金沢市飛梅町3-30  
E-mail : shikindai-j@kanazawa-city.ed.jp  
Website : http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shikindai-j/  
児童生徒数：男子 275 名 女子 253 名 合計 528 名  
児童・生徒の年齢 12歳～15歳

### 2. 担当者 ※公表しません

### 3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

## 4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

### ① 総合的な学習の時間「飛梅タイム」の実践

「飛梅タイム」では、伝統文化、国際理解、環境の3分野を中心に学習を進めている。1年生では全員が3分野についての基礎的な学習を行う。2・3年生では自分たちの興味・関心に応じて、希望の講座を選択し、体験活動や探究活動を行っている。

伝統文化の分野では、金沢に伝わる能、狂言、加賀友禅、和太鼓、日本舞踊、加賀手まり、南京玉すだれ、茶道などの講座を開設し、地域の方を講師に招き体験的な学習を実施した。プロに学び、実際の伝統芸能や伝統工芸を体験することによってそれらの魅力を感じることができ、多くの生徒がこれらの伝統文化の価値を守っていくことの重要性を認識することができた。昨年度からは、地域に伝わる「上野町餅つき踊り」も取り入れた。

国際理解の分野では、1年生で「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを行ったり、青年海外協力隊OBの方に来ていただいて国際理解講座を実施したりした。このように、世界の諸課題について学ぶことは、地球的規模で物事を捉える基礎になる。また、2、3年生では世界の文化を学んだり、英語劇を通して芸術を学んだり、金沢市の姉妹都市交流員の方に話をうかがうことで、姉妹都市について学ぶなどをした。このような学習を通して、世界の国々特有の良さと日本の文化のすばらしさを再認識することができた。

環境の分野では、地球が抱える今日的課題に対して様々な視点から考えた。2年生では浄水場への見学を行ったり、環境に優しい生活を送る工夫や、テーマを設定してディベートを行うグループなど、各グループが自分たちの課題を設定し、様々な方法で課題を解決するための学習を行った。

この「飛梅タイム」を通して、生徒たちは地域に伝わる伝統文化を学び、大切にすることを育みながら、世界にも目を向け、これからの未来を担っていく自分たちが、何を大切にして生きていくべきかを考えるよい機会となっている。「飛梅タイム」での学びは本校の大きな特色として大切に受け継がれ、今後もさらに充実させていきたいと考えている。

### ② 生徒会活動へのつながり

ユネスコスクールに加盟して6年目になるが、「自分たちにも何かできるESD活動はないか」という考えのもと、生徒会を中心として学校全体で様々な活動に積極的に取り組む姿勢が定着してきている。

具体的な取組としては、通学路や辰巳用水の清掃、地域のお年寄り家庭を訪問して草むしりなどの手伝いをする「KOB (Keep Outskirts Beautiful) プロジェクト」やペットボトルのキャップを集めるエコキャップ運動などさまざまな活動を行っている。

また、委員会活動の中でもESD運動が定着してきた。ESDを意識することで、生徒の間に少しずつESDの価値観を育んだり、ユネスコスクールとしての役割を考えたりするきっかけになっている。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他( )